

「物効法と貨物自動車運送事業法」の改正案が決定しました

Note Vol.34 2024/3/11

2024年問題に対応し、物流の持続的成長を図るため、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案」が、2月13日に閣議決定されました。

※参考：https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000747.html

1. 法律案の概要

既知の通り、働き方改革に関する法律が本年4月から適用され、物流業界は「2024年問題」に直面しています。こうした状況に対応するため、荷主企業、物流事業者、一般消費者が協力して商慣行の見直し、物流の効率化、荷主・消費者の行動変容について抜本的・総合的な対策が必要として国も動き始めています。今回閣議決定された法律は3つになります。

(1) 荷主・物流事業者に対する規制 【流通業務総合効率化法】

政府は、物流効率化のため荷主と物流事業者に努力義務を課し、判断基準を策定します。荷主企業、物流事業者、消費者が協力し、商慣行の見直しや物流の効率化を図る必要があります。

【荷主等が取り組むべき措置の例】
＜パレットの導入＞



バラ積み・バラ降ろしによる非効率な荷役作業



パレットの利用による荷役時間の短縮

また、特定事業者には中長期計画の作成や定期報告を義務付け、荷主には物流統括管理者の選任が求められるようになります。

※参考：<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001722736.pdf>

(2) トラック事業者の取引に対する規制 【貨物自動車運送事業法】

元請事業者には、実運送事業者の情報を記載した管理簿の作成が義務付けられます。また、運送契約時には、役務の内容や対価（附帯業務料、燃料サーチャージ等含む）を記載した書面の交付が求められます。さらに、他の事業者の利用（下請け）の適正化に努力義務が課され、一定規模以上の事業者には、管理規程の作成や責任者の選任が義務付けられています。

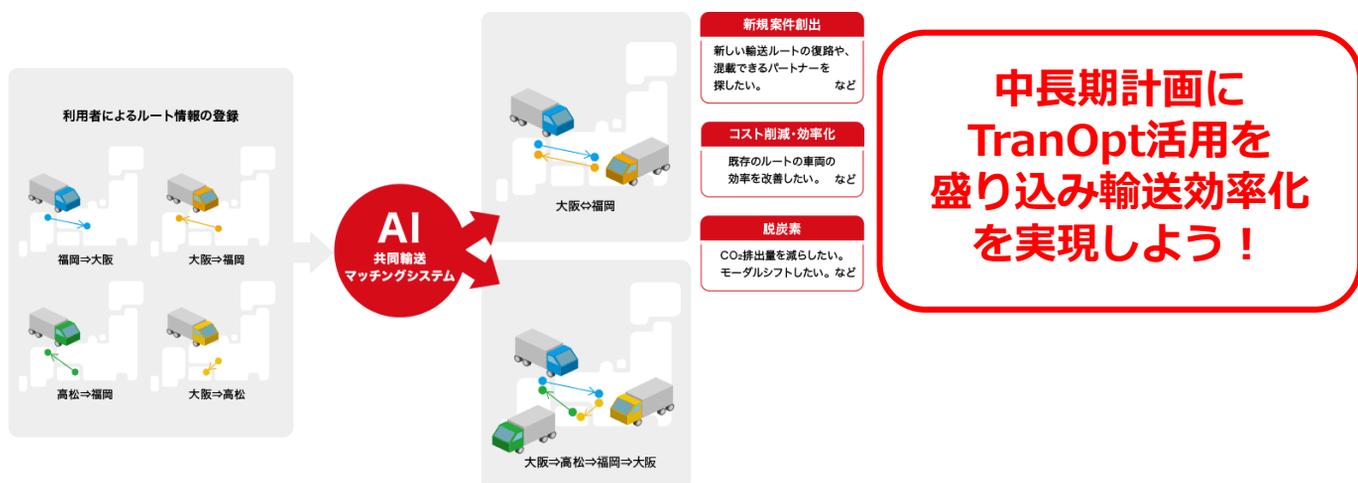
(3) 軽トラック事業者に対する規制 【貨物自動車運送事業法】

軽トラック事業者には、法令等の知識を担保するための**管理者の選任と講習受講**、さらに国土交通大臣への**事故報告が義務付け**られています。また、国土交通省のホームページでは、軽トラック事業者に関する事故報告や安全確保命令に関する情報が公表されることとなりました。

2. TranOptの活用例

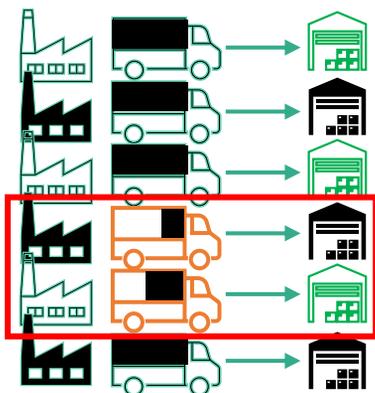
(1) 中長期計画の作成への活用

一定規模以上の事業者を特定事業者として指定し、**中長期計画の作成**が義務付けられます。そこで、**TranOptを活用し共同輸送を行う**ことで物流の効率化を図ることが可能となります。



(2) 実運送事業者の輸送の可視化と効率化

元請事業者には、**実運送事業者の情報を記載した管理簿の作成**が義務付けられます。実運送事業者を改めて管理することで**輸送の実態が把握**できれば、**非効率な輸送のルート**を TranOptでマッチングすることでより効率化することが可能になります。



実運送会社の低積載等のルートを TranOptでマッチング。

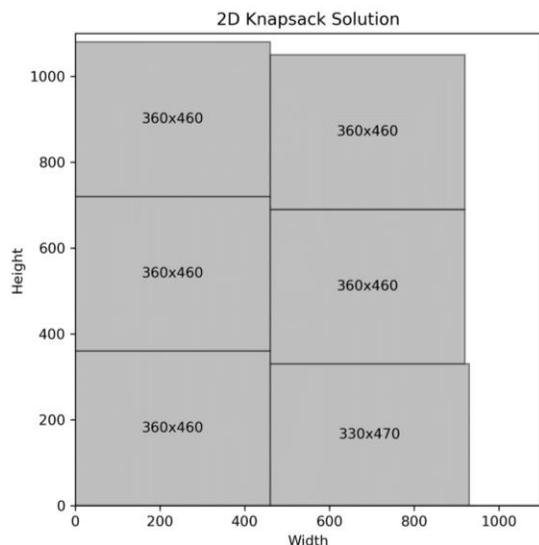
実運送事業者の輸送を可視化し、TranOptを活用して効率化を実現しよう！

(3) パレットローディングや積荷配置のシミュレーションの活用

物流業務の効率化に向け、荷待ち・荷役の時間短縮やトラックの積載率向上に取り組むよう努力義務も課されます。

TranOptは、AIによる共同輸送マッチングに加え「**輸配送データ分析サービス**」をリリースしました。当分析サービスにより、**パレットローディングや積荷配置等のシミュレーション**ができ、「**パレットやトラックに荷物を積み込む際にどのように積めば効率的か分からない**」という場合は是非ご活用ください。積載率向上が計れます。

例1) パレットローディングシミュレーション

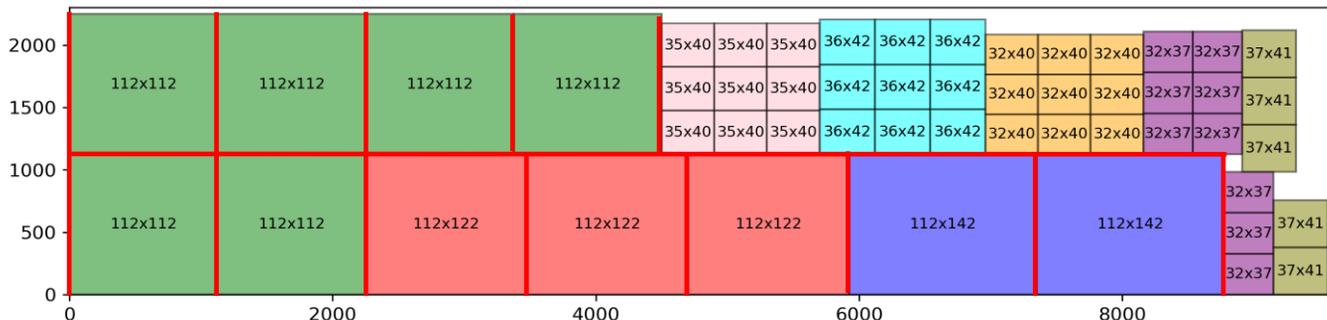


シミュレーションした積荷の条件

積荷	横の長さ	縦の長さ
Box1	460cm	360cm
Box2	470cm	330cm

左図はPT11のパレット（1100cm×1100cm）に2種類のサイズの積荷を配置する場合のシミュレーションです。各積荷の縦横の長さや載せたい積荷の優先度を考慮し、最大積載となるようシミュレーションします。

例2) 積荷配置シミュレーション

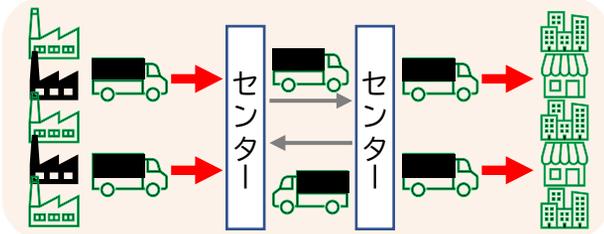
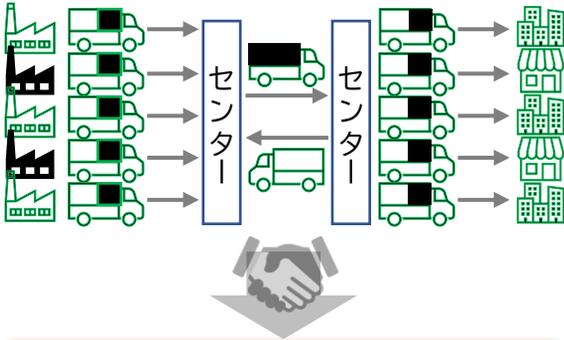


上図は荷台（2300×9600）に対して、PT11、PT12、PT14と異なる5サイズのバラ積み混載した場合の例です。空きスペースが最小になるような配置方法をシミュレーションします。また、各パレット間（赤線）に緩衝材50mmを考慮することも可能です。

ご不明点等ございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

PR 「プライベート利用」で輸送網を最適化しよう！

プライベート利用とは、TranOptのWEBシステムを個別企業様にライセンス提供し、**同業種間(業界内)**や**自社・グループ会社間の輸送網最適化**を実現するための利用形態です。



調達物流の輸送最適化	製品物流の輸送最適化	工場・センター間の輸送最適化	支社・営業所間の輸送最適化	事業・グループ会社間の輸送最適化
------------	------------	----------------	---------------	------------------

メーカー	EXAMPLE 調達と製品物流のマッチングによる効率化！	○	○	○	○
商社・卸	EXAMPLE 業界の輸送効率化に貢献！ 事例 Click Here !!	○	○		○
流通小売	EXAMPLE 混載のマッチングにより車両数に加え、待機時間も削減！	○		○	
物流会社	EXAMPLE 長尺・重量・異形物等の同一特性の積荷同士のマッチングによる効率化！				○
複合企業	EXAMPLE 自社のCO2排出量を削減し、カーボンニュートラルを目指す！				○

まずは、トライアルからご相談下さい。

日本パレットレンタル（株） デジタルロジスティクス推進部 輸送マッチング推進グループ
mail:tranopt@jpr.co.jp

ご相談・概算見積依頼

<https://lp.tranopt.jpr.jp/>
Mail:tranopt@jpr.co.jp